

# 特別養護老人ホーム 東かなまち桜園

# 手芸倶楽部新聞

2014年  
10月14日号  
第18号



伊藤 敬能 訓練指導員より

東京の紅葉はまだ先ですが、フラワーアレンジメントにて、秋を感じるものが出来ました。皆さん色や配置のバランスに悩みながら一生懸命、花を活着けていました。

次回は、二階・三階の利用者様対象で、十月二十四日（金）地域交流室にて十四時より開催予定です。お楽しみに。見学も大歓迎です。

## 手芸のコツ

目が悪い・・・と縫い物を尻込みしていた方。自地に赤糸で縫ってもうと、すんなりまっすぐ縫えました。縫い目ははっきり見える糸は、普通は裁縫では敬遠されますが、縫いやすさ優先！それに皆さんの作業をみると、目より手の感覚で縫っていらっしやるようにみえます。

昔は編みだけだと、久々に編み物された方は自分が編めたことにびっくり！笑顔を見せてくださいました。少し職員が編んだ後、編んで頂くのがコツです。

## 新メニュー紹介

最近、皆さんに人気のプロگرامは、一重仕立ての巾着袋！端の始末は袋縫いにして、洗濯にも耐えられる実用的な巾着です。アップリケやパイアステープでワンポイント入れて、個性もアピール。このようなものは、いくつあってもいいですよ。



パッチワークも製作中。余った端布がもったいなくて始めたのですが、すごくかわいいと大好評！今はこれで暖簾製作中。次回は仕上がった暖簾を紹介できるかな？

パッチワークでは暖簾はもちろんな座布回力カバー等、いろんなものを作れます。根気のいる作業ですが、仕上がった作品をみて、ぜひ意欲を燃やしてほしいです。



編集後記：こちらは、ご利用者様が描いたデザイン画と、その材料のレースと生地です。その方は手芸倶楽部の端切れをみて、「こんなエプロンを作りたい」と画を描いて下さったのです。端切れではちょっと布地がたりなかったのと、レースは倶楽部になかったので、イメージを詳しく伺ってご利用者様から代金を預かり、私が材料を買って来ました。個人的に洋裁したい方もぜひご相談ください。お手伝いします。



第十八回の手芸倶楽部は、紅葉をテーマに開催いたしました。皆さん、赤いもみじや、われもこうを添えた、秋らしいアレンジを作ってお楽しみました。シックな中にも皆さんのセンスが光っています。また、一階まで降りることが困難な体調の悪い方は、フロアでアレンジを作りました。それぞれ秋らしいアレンジフラワーを楽しんでおられました。うまく活けられない方の手伝いを、他のご利用者様が、自主的にしてくださるといって、心温まる微笑ましい場面も。ご利用者様同士の友情に、心が熱くなりました。

